

\*\*\*\*\*  
 本ニュースリリースは、内閣府、日本医師会、日本ユニシス、日立製作所、日本アイ・ビー・エムの共同  
 ニュースリリースです。重複して配信される場合がありますこと、ご了承お願いいたします。  
 \*\*\*\*\*

2020年6月10日

内閣府  
 公益社団法人日本医師会  
 日本ユニシス株式会社  
 株式会社日立製作所  
 日本アイ・ビー・エム株式会社

**「内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」第2期において  
 「AI ホスピタルによる高度診断・治療システム」社会実装に向けたプロジェクトを開始**  
 ～ AI で医療分野における社会課題を解決。  
 超高齢化社会における医療の質を確保し、医療関係者の負担軽減を実現 ～

公益社団法人日本医師会（以下、日本医師会）、日本ユニシス株式会社、株式会社日立製作所、日本アイ・ビー・エム株式会社は、「内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」第2期で採択された「AI ホスピタルによる高度診断・治療システム」の構築および2022年の社会実装に向けたプロジェクトを開始します。また、ソフトバンク株式会社と三井物産株式会社も、協力参加機関として、本プロジェクトに加わります。

**【医療分野における課題】**

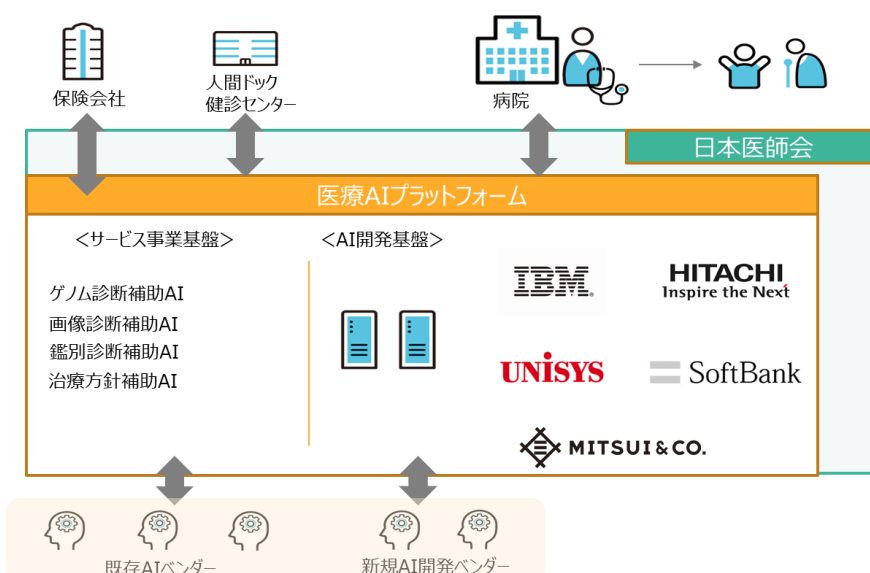
近年、医療が高度化・先進化・多様化・個別化されたことにより医療関係者と患者や家族間だけでなく、先端研究者と医療関係者間に大きな知識・情報格差が生じています。また最先端の診断や治療法を医療現場へ普及するにあたり、技術の標準化やデータ解釈などについて厳格な規定が必要となっています。検査結果の解釈などのミスは患者の健康被害につながることもあります。また、高度化に伴って、医療従事者の負担が過度に増えていることが社会問題化しています。

**【内閣府戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）】**

SIP は、日本の科学技術イノベーション実現のために創設された国家プロジェクトです。司令塔は、内閣府の諮問機関の一つである総合科学技術イノベーション会議であり、基礎研究から実用化・事業化に至るまでを見据えた取り組みを推進することを目的としています。

第2期 SIP では、医療分野における課題を解決し、今後の医療を支えるために科学技術の活用が不可欠であるとして、「AI ホスピタルによる高度診断、治療システム」という先進的な研究課題が採択され、日本医師会にも協力していただいています。

**【AI ホスピタルによる高度診断、治療システム】**



今回発足するのは、医療機関だけでなく、民間の健診センターや保険会社などが利用できるプラットフォームです。

医療現場で簡単に活用できる、画像診断や問診、治療方針提案などの医師支援を行う、さまざまな AI（人工知能）を提供し、医療の質確保や医療関係者の負担の軽減を目指します。

なお、「AI ホスピタルによる高度診断、治療システム」は、SIP の評価委員会で、以下の評価を受けています。

1. 超高齢化社会における医療の質の確保や医療従事者の負担軽減など、AI を駆使した先進的な診断・治療システムの確立は喫緊の課題となっており、本課題も極めて時宜を得たものとして高く評価できる。
2. 診断・治療分野における AI などを活用した新たなシステムやビジネスの創出はまさに黎明期を迎え、グローバル競争も激化している。
3. 迅速な成果の社会実装に向けた出口戦略・ビジネス戦略の構築を研究開発と同時並行で進めることを期待。

今後、日本医師会、日本ユニシス株式会社、株式会社日立製作所、日本アイ・ビー・エム株式会社、ソフトバンク株式会社、三井物産株式会社は、本システムの 2022 年社会実装に向けた取り組みを進め、医療の質向上と、医療分野における社会課題の解決を支援していきます。

## 【各社の役割】

### ・日本ユニシス株式会社

医療 AI プラットフォームのサービス事業基盤の設計・構築を担当し、2020 年秋より開始を予定しているモデル事業の実行を支援。また、プラットフォーム上での提供サービス企画・開発を実施。

### ・株式会社日立製作所

医療 AI プラットフォームのサービス事業基盤の設計、プラットフォーム上で提供するサービスの企画・開発および提供。また、外部サービスベンダーの調査やスクリーニングを実施。

### ・日本アイ・ビー・エム株式会社

医療支援 AI 開発における技術提供・グローバル知見提供を通してのサービス基盤拡充支援、およびプラットフォーム上に公開する医療従事者の業務支援 AI アプリ開発を担当。

### ・ソフトバンク株式会社

医療 AI プラットフォームの基盤となる、5G をはじめとする通信ネットワークやユーザー認証機能の提供・検証を予定。

### ・三井物産株式会社

アジア病院事業を含む海外のネットワークを活かし、データ・デジタル技術の社会実装及び AI ホスピタルの国際化に向けた検証を支援。

以上

## ■ 関連リンク

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP：エスアイピー）  
<https://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/sip/>

※記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

<報道関係問い合わせ窓口>

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所